

どんな辛い道でも前に進む (前編)

株式会社シンニッタン 結城工場

村上 ウィリアム



Olá (「オラ」、日本語で「こんにちは」の意味です。)

私の名前は村上 ウィリアム、ブラジル連邦共和国 (以下「ブラジル」という。) 出身の日系三世です。

日本の慣習^{※1}に倣い、日本での名前は「村上 ウィリアム」ですが、ブラジルでの名前は「ウィリアム マルケチ ムラカミ」となります。

「ムラカミ」は父方の苗字、「マルケチ」は母方の苗字となり、父母の苗字を受け継いでいます。人によっては祖父母の苗字も受け継ぐ場合があるので、日本人と比べると、ブラジル人の名前はやや長めです (笑)。

私は1977年、パラナ川支流のグランデ川の畔にある小さな町、サンパウロ州リオランディアで生まれました。ブラジルは国土が広大であり、サンパウロ州だけでも日本の国土の65%に相当します。そのため、サンパウロ州といっても、州都のサンパウロ市から、私が生まれたリオランディアまでは600km^{※2}も離れています。



ブラジル地図

外務省ホームページ
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/brazil/index.html>)
を加工して作成

※1 日本の戸籍法では、姓・名、いずれかにミドルネームを追記することができます。

※2 およそ東京都～島根県松江市間の距離に相当します。

前述のとおり、ブラジルは国土が広大であるため、地域によって気候が異なりますが、私が生まれ育ったサンパウロ州は比較的温暖であり、日本同様、四季があります。ただし、南半球に属するため、12～2月までが夏、6～8月までが冬となります。

また、サンパウロ州は日本と比べ湿度はそれほど高くないため、夏の暑さによる不快感はさほどありません^{※3}

ただ、日本に来て20数年になりますが、日本の夏だけは未だに慣れません (苦笑)。

1908年 (明治41年) 以降、多くの日本人が海を渡り、ブラジルへと移住しました。今ではおよそ200万人もの日系人がブラジルで暮らしています。

サンパウロ市には、世界最大規模の日本人街 (リベルダーデ) があり、日本との縁がとても深い地域です。

私の親戚がリベルダーデに住んでいたため、夏休みにはよく遊びに行きました。

街の中心部には鳥居や提灯をあしらった街灯などがあり、どこか日本的で、ノスタルジーな雰囲気を感じさせます。

また、毎週土曜日には「東洋市」が開催され、焼きそばや、お好み焼きなどの出店が建ち並び、さながら日本のお祭りのような賑やかさでした。

(4月号に続く)

※3 サンパウロ市における夏の平均最高気温は30度弱程度です。